

問 災害時及び事前の危機管理を

答 受援体制の強化に努める



佐藤 仁志 議員 無会派



震度6強の地震が襲えば、昭和56年以前の基準で建てられた住宅の大半が倒壊の危険性



北上川の堤防で川が見えなかった
北上川を相上した津波が襲った
石巻市立大川小学校

問 「木曾三川下流部広域避難実現プロジェクト」を避難計画にどのように生かすか。

答 (市長) 安全かつ迅速に広域避難できるよう努める。

問 いつまでに広域避難の計画を完成させる決意か。

答 8市町村のみでは解決できない課題が多く、国、県とも連携し広域避難を進めていく。

問 南海トラフ地震に対する、本市のウィークポイントへの対応は。

答 国、県や企業、ボランティア等の応援を最大限活用することが重要で、受援体制の強化に努めている。

問 災害対策本部長として、部下にどのような方針を示すか。

答 人命救助、被害拡大の軽減など、災害状況に応じて迅速に方針を示す。

問 日ごろ部下にどのような対応を指示しているのか。

答 すぐ行動を起こせるよう、地域防災計画、BCPの確認を指示。

問 職員の育成は。

答 各種資機材の操作訓練や避難訓練等を実施。

問 古い木造住宅が密集した地域は、行政の調査や組織的な支援が必要ではないか。

答 市が調査する考えはない。引き続き補助金等の活用を周知。

問 市民意識調査にどう向き合うか

答 審議会に諮り、基本計画に反映

問 市民意識調査アンケートの結果に対してどのように分析しているか。

答 (市長) 市政に対する満足度・重要度の評価などの集計を行った。

問 意見に対し、組織としてどのような対応をしているか。

答 各課からの意見を踏まえ、総合計画審議会に諮り、後期基本計画に反映する。

問 意見欄に「市民の質問にきちんと答えられない」とあるが、市長の考えは。

答 丁寧に説明している。今後とも丁寧に説明責任を果たす。

問 副市長が行政の経験者として考える、本市の組織等の問題点は。

答 (副市長) 現状の事務分掌及び事務分担の再確認や、各課における人員を確保し、カバーできる環境を作るための検討が課題。

問 何か対応を考えているか。

答 事務の効率化に重点を置き、組織や事務の集約を図り、市民が利用しやすい組織となるよう検討。

問 副市長の選任は公募という選択もあるが、市長の考えは。

答 (市長) 現時点で検討していない。